

学年通信

2026年  
06月12日

# 仲間

～ 最終章 俺たちの背中を見ろ ～

卒業まで137日

第014号

文責 稲葉浩志



修学旅行で借りたスマートフォンの写真のデータが届きました。学年の合計で1000枚以上の写真が撮影されていました。たくさんの思い出を作れたことを再確認できました。修学旅行実行委員が企画してくれた「フォトコンテスト」へ応募するための写真などもたくさんあって、これからのコンテストの審査も楽しみになりました。

### 「理想」と「現実」の差を埋めるのが「努力」

仲間と過ごした夢のような時間だった「奇跡の修学旅行」が終わって1週間が過ぎました。掲示の写真を見ながら思い出話に花が咲く様子を見ていると本当に楽しかったのだな、行けてよかったなと思います。しかし！来週からは「前期中間テスト」が始まります。今までのテストも大切だったと思いますが、今年は「受験生」ということもあり、今まで以上に気合が入っていると思います。受験生としてのテストの始まりへ向かうみんなに「受験」を最後まで戦い抜いてもらうために先生の経験から感じたことを伝えたいと思います。誰か有名な人とかではなく、先生が今までの受験の経験や担任として受験生を見てきたことからのことなので正解かはわかりません。少しでもみんなの参考になればと思います。

「〇〇高校を目指して頑張る！」など最初に目標を決めると思います。これはとても重要なことで「目標＝夢」というのはエネルギーの源になることなのでしっかりと考えましょう。似たような言葉に「理想」という言葉があります。「夢」とは先の方にある遠い目標のことを言います。志望校のことはもちろんですが、将来は「宇宙飛行士になりたい」とかです。「理想」は今に近いところに思い描く少し現実味の強いことです。「今回のテストでは平均80点を取りたい」などです。問題が解けるようになったり、今まで以上に勉強すると「理想」が膨らんでいくと思います。もちろん「理想」の結果になってくれたら最高だと思います。しかし「現実」というのは時に残酷なことがあります。「こんなはずじゃなかったのに…」と思った経験は今までもあったのではないのでしょうか。部活で「最近いい感じだから、今日は勝てるんじゃないかな！」とか、合唱で「すごくいい感じに歌えるようになってきた！結果に期待できる！」とか思っていたのに結果は…。自分が感じていた「理想」と「現実」の差にショックを受ける。この瞬間に二つの考え方に分かれると思います。「こんなに頑張ってきたのに…頑張っても意味がない」となるのか、「ここからもう一度頑張るぞ」となるかです。先生は今までの経験から「理想」と「現実」に差があった瞬間が挑戦のはじまりだと思っています。そしてその「理想」と「現実」の差を埋めて、「理想」を「現実」へと変えるための取組を「努力」と呼ぶと思っています。「理想」だけ掲げて「努力しているつもり」で「現実」が見えていないのは、自分が「想像している努力」ではないのでしょうか。もちろん現実を突きつけられると心が折れそうになる時もあるとは思いますが、でも、そういった壁はこの先の人生でもたくさんあると思います。これから先はもっと競争が激しくなっていきます。その荒波の中でも強く、少しずつでも前へ進もうとできる人というのは、「現実」を受け入れ「理想」へ向かって努力できる人だと思います。

### 何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。

「理想」の先にある「夢」に向かって、「現実」を受け入れて「努力」を続けられることを大切にしてください。そうすれば「受験」の合否だけでなく、この先の人生を生き抜く力が身につくはずですよ。今の時代は「自分で自分に厳しくできる人」でなければいけません。自分と戦って戦って、最後に大きな花を咲かせましょう！先生の経験からみんなに伝えたいことは以上です。頑張るのは自分自身、結果を受け取るのも自分自身です。結果が出たときに「努力しておけば…」「あの時間が無駄だった…」と後悔のないようにしてください。

#### 「来週以降の予定」

日	曜	内容	下校
15	月	前期中間テスト①学②社③理④英	13:15
16	火	前期中間テスト①学②国③数④学	13:05
17	水	部活動強調週間(～7/3)	15:25
18	木	部活動懇談会(16:00まで活動の場合あり)	13:30
19	金		15:25
20	土		
21	日		

日	曜	内容	下校
22	月		14:30
23	火		15:25
24	水	⑤「藤嶋 昭」氏講演会	15:25
25	木	⑤⑥卒業アルバム個人写真撮影	15:25
26	金		14:15
27	土		
28	日		